

大田区版「地域共生社会の実現」へのイメージ ～包括的支援体制の構築に向けて～

一人ひとりの困りごとを解決する個別支援と、地域の支えあいや地域の主体的な活動の発展は、どちらも地域を形づくる大切な要素です。
本計画は、「複合課題に取り組む個別支援」と「支援と共生の地域づくり」の2つを取組みの柱とし、大田区版の「地域共生社会」の実現をめざします。

自分のこと、家族のことで困りごとがあったら、まずは相談しましょう。
また、身近な人の困りごと気づいたら、ご存じの相談窓口積極的につながりましょう。



課題を把握・整理

サービス提供
伴走支援 開始

困りごとが解決し、安心して生活できるようになったら、地域に目を向けてみてください。自分に合った活動があったら、ぜひ参加してみましょう。
また、引き続き、地域で見守る体制も大切です。



丁寧な聞き取り

区の支援、社会福祉協議会の支援、民間サービス、地域資源を総動員して支援計画を作成

そのために！

複合課題に取り組む個別支援

対象者ごと・分野ごとに整備された相談支援機関は、相談者一人ひとりの声を丁寧に聞き取り、課題を整理します。
複合課題には、関係する複数の相談支援機関が連携して、チームで対応します。

- 地域包括支援センター
- 生活再建・就労サポートセンターJOBOTA
- 障がい者総合サポートセンター
- 在宅医療相談窓口
- 配偶者暴力相談支援センター
- 子ども家庭支援センター
- 教育センター
- おおた成年後見センター
- 民間相談支援事業者など

複合課題には
チームで対応



そのために！

支援と共生の地域づくり

支えあい

「お互いさま」の精神で！



例えば、電球の交換や、買い物への同行などが考えられます。
顔の見える関係を、お隣同士からご近所、地域へと広げていき、小さな悩みでも気軽に相談しやすい環境を作っていきましょう。

気づき・見守り・つなぐ

ほんの少し勇気を出そう！



日々の見守り活動の中で課題を抱える方に出会ったり、サービス提供を通じて自分では解決できない課題を見つけたら、身近な相談窓口につなぐことが大切です。

地域づくり

あなたの一歩から始まる！

地域ごとに行われている取組みを、地域を知る入口として活用しましょう。
ポールウォークやまち歩き、地図づくりなどを通じて、地域の強みや課題を共有することが、地域の未来を一緒に考えることにつながります。



社会貢献活動

地域密着で愛されよう！



社会福祉法人や区内事業者、民間企業には、本来業務によって蓄積されている知識や技能、資源を活用した公益的な活動が求められます。
例えば、所有する施設の無償提供や、イベントの共催、就労訓練の場の提供など、幅広い活躍が期待されます。

地域福祉を推進するコーディネーター

(区の地域福祉課地域包括ケア推進担当、社会福祉協議会の地域福祉コーディネーター、地域包括支援センターの見守りささえあいコーディネーター、地域ささえあい強化推進員)

地域福祉を推進するコーディネーターは、個々の生活課題や地域での課題と、公的サービスや支援機関、社会福祉協議会の事業、地域資源などを結びつけていく重要な役割を果たします。

要支援家庭等対策委員会など区の検討組織は、相談支援機関と連携し、複合課題に対応するための環境整備を行います。

具体的な事例のPDCAを実施・蓄積することにより、個別の課題を普遍化させた連携の仕組みや、連携に支障のある手続き等の簡素化を検討します。

連携

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的役存在として、社会資源の発掘、新たな資源の創出、地域活動の横のつながりをコーディネートするネットワークの構築の役割を担います。